

協働をさらにおいしくする組織づくり

● ヒト工夫～要は人と人が肝心です。

事業を進めるに当たって、いまの組織のメンバーだけでは十分でない場合は、新たなメンバーを探したり、一時的に外部の協力者に助けってもらったりすることを考えましょう。

「足元を固める」「新たな視点を持つ」「お互いを思いやる」ことが組織づくりには必要です。



1 押してもだめなら引いてみよう

とりあえず「これは!」と思った人たちに声かけしたり、「あなたが必要」とアピールしましょう。だめでも、しょっちゅう顔を出すと心を許してもらえるかも。出会いの一步に。

2 知り合いの知り合いは知り合い

友達の友達は心強いですね。知り合いの知り合いに思いがけない資源やアイデアをもつグループや応援隊がいるかもしれません。協力者は無限です。

3 お金の縁はヒトの縁

活動に必要なお金を集めるという行為は、ヒトとヒトを結びつけるのに役立つこともあります。企業や地域の皆さんと仲良くなったり、活動に対する賛同の多さを数字にして示せたり…。

4 口コミが最高のメディア

世間には情報があふれています。届けたい人になかなか届きません。結局、関心を持ってもらうには口コミが一番です。新聞や地域のフリーペーパーに記事がでると口コミがさらに効果を発揮します。

5 来る人は拒まず、去る人は追わず

無理してボランティアやメンバーを引き留めてもお互いしんどい。将来、お客さんになってくれたりすることもあります。関係ないと思った人が味方や担い手になってくれることもあります。

チェックリスト!

- ちょっと気になる分野のイベント、シンポジウムなどに参加してみましたか?
- 頼める人・団体をリストアップしてみましたか?

コラム



リーダーに任せっきりでメンバーが動かない。新メンバーが事業をどんどん進め、リーダーは「何もしていない」と責められる。こんな風に組織内がギクシャクしては協働どころではありません。

組織づくりのかくし味は、大きじ1の思いやり、小さじ1の決断、ひとつまみのユーモアです。要は人と人とのつながりが肝心です。